

熊本市立大江小学校

ときめき

2023.10.18(水)
No. 73 文責 松永

五年生 集団宿泊教室(阿蘇青少年交流の家)いろいろな体験をしました②

2日目の朝、6時半の起床後にクリーンタイムがあり、室内や施設内の清掃活動を行いました。きれいになったところで、朝の集いでした。少し眠そうな子どももいましたが、ラジオ体操をしたことで目が覚めたようでした。その日一日のスケジュールを確認した後、食堂に移動して朝食でした。前日の夕食から時間が空いていたこともあってか、結構おかわりをしながら食べていました。

そして、午前中のプログラムが始まりました。指導員の方から、阿蘇の水について話を伺った後に、山を下って阿蘇神社まで歩きました。到着したら、神社近くで水基めぐりウォークラリーをしました。グループごとに、地図を手に16のポイントを回っていきました。暑かったこともあり、活動中に飲んだ湧き水もおいしかったようです。水基に付けられた名前で、盛り上がっているグループもありましたし、飲んだ水の味のコメントも聞かせてくれましたが、なかなかのものでした。あっという間に制限時間になりましたので、交流の家を目指して歩き始めました。ただ帰りは上り坂でしたので、なかなか足が進まない子どももいました。そんな時、仲間の力は大きくて、荷物を持つのを手伝ったり、手を貸したりしながら「がんばろう」と声をかけていました。「もう少しだよ」そんな励ましが力になり、一步一步足を進めていきました。ゴールをした時の達成感は何とも言えなかったようです。がんばって歩いた後の昼食もまた格別でした。



午後は、2クラスずつに分かれての活動となりました。大草原の中でのディスクゴルフと夜に行われるキャンドルの集いの出し物の練習です。阿蘇の山々をバックに見ながら、広い草原でディスクを投げていましたが、コントロールが難しくちょっと苦労している様子も見られました。そんな時も、友達の声かけの力は大きかったようです。自然の中の活動を満喫していた様子でした。もう一方の出し物は、学級で2つずつ担当することになっていたので、



最終打ち合わせと練習を進めていました。間に合うかな?そんな声を聞こえてきましたが、夜のキャンドルのつどいに向けて、気合が入っていることを感じて、楽しみになりました。2日目の夕べのつどいから、この日から参加の熊本市内の小学校と合同で行われました。学校紹介をしたり、ゲームをしたりして、短い時間でしたが、交流することができました。